

令和6年度

教職員研修 開設講座一覧

三条市教育センター

I 小中一貫教育研修

1 基礎研修【転入・新任者のための小中一貫教育の理解を深める研修】

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての実践	学習指導	生徒指導	教育指導	特別支援教育・ICT活用			
101 小中一貫教育基礎研修	○					【悉皆】 市内転入・新採用教職員	4月12日(金)面識式で実施	小中一貫教育導入の背景、三条市の子供たちの実態、小中一貫教育導入までの経緯、三条市の小中一貫教育とは、小中一貫教育の取組例、成果と課題について学ぶ。

2 実践研修

(1) 小中一貫教育を通して学力の向上を目指す研修

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての実践	学習指導	生徒指導	教育指導	特別支援教育・ICT活用			
201 授業スタンダード理解研修		○				【悉皆】 市外からの転入教職員	5月27日(月)までに 自校でオンデマンド研修	各自が、①研修用資料を読み進める。②1時間の授業を構想し研究主任に見てもらう。③研修の報告をGoogle Formsに入力して行う。※書かれた主な質問事項については教育センターから後日見解を示す。
202 算数・数学指導力向上研修①		○				【悉皆】 市内教職員、各学校1名	5月28日(火) 14:20～16:30 教育センター ※講師はオンライン	鹿児島大学 和田信哉准教授を講師に、算数・数学の学力向上を目指し数学的活動に基づく学習指導法を学ぶ。
203 算数・数学指導力向上研修②		○				【悉皆】 市内教職員、各学校1名以上	8月5日(月) 10:00～11:40 教育センター ※講師はオンライン	実践研究が豊かな小中学校現職教員を講師に、算数・数学の学力向上を目指し算数・数学の授業づくりの具体的なアイデアを学ぶとともに、参加者の実践について情報を交換する。
204 外国語指導力向上研修① (基礎研修)		○				【悉皆】 市内教職員、各学校1名以上	①5月10日(金)小・中学校対象 ②6月28日(金)中学校対象 ③7月2日(火)小学校対象 14:30～16:30	①新潟大学 松沢伸二名誉教授を講師に、小中連携について具体的な実践例をもとに学ぶ。 ②新潟大学 松沢伸二名誉教授を講師に、求められる英語力を高める授業づくりについて学ぶ。 ③教科書Blue Sky編者、岐阜大学 瀧沢広人准教授を講師に、児童をやる気にさせる活動の実践や中学校を見据えた授業づくりについて学ぶ。
205 外国語指導力向上研修② (授業実践研修)		○				【悉皆】 隔年で指定学園教職員 (R6:三条学園、四つ葉学園、さかえ学園、ただの郷学園)	5月～11月 4回	児童・生徒の外国語活動・英語授業への関心や意欲を高め、学力向上を図ることを目指す。学園での授業の構想づくり・実践・協議を行うことを通して、英語・外国語の授業力を磨く。授業公開校は学園で決定し、公開する。
206 教科指導研修(国語)		○				【悉皆】 国語科担当教職員・研究主任、 各学校1名以上 教育センター	8月5日(月) 14:30～16:20	令和4年度の「読むこと」、令和5年度の「書くこと」に加え、令和6年度は、「聞くこと・話すこと」の指導に焦点付けて学ぶ。新潟大学附属長岡小中学校現職教員を講師に国語の授業づくりの具体的な方策を学ぶとともに、参加者の実践について情報を交換する。
207 標準学力検査(NRT)分析研修		○				市内教職員	6月21日(金)14:30～16:30 オンライン	一般財団法人応用教育研究所の方を講師として、標準学力検査(NRT)の基本事項、結果の読み取り、分析方法について学び、学力向上につなげる。
208 全国学力・学習状況調査 分析研修		○				市内教職員(研究主任、教科主任)	～11月 自校での研修	各学校は、①自校の結果を分析する。②①の結果及び国立教育政策研究所からの「学習指導の改善・充実に向けた説明会資料・説明動画」を使って校内で研修する。③校内研修の報告をGoogle Formsに入力して行う。
209 学力向上研修		○				【悉皆】 市内教職員、各学校1名以上	7月3日(水) 14:30～16:30 オンライン	東京大学 一柳智紀准教授を講師に、「主体的・対話的で深い学びの授業」と「学力向上」について、こからの授業づくりについて学ぶ。

## (2) 科学教育センター主催研修

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・教育指導	ICT活用			
301 生活科 「みんなであそぼう～ふゆのあそび・むかしのあそび～」		○				市内教職員	12月4日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	落ち葉や枝、松ぼっくり、ドングリ等を使った自然遊びや作品づくり、教室等の室内で思いっきり遊べる遊びの実習を行う。
302 小3理科 「光を調べよう」		○				市内教職員	9月18日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	「明るい」、「温かい」といった体感を伴う活動や定性的、定量的に光の性質を捉える指導法、教材についての研修を行う。光の性質を利用した探究的なものづくり活動も紹介する。
303 小4理科 「人の体のつくりと運動」		○				市内教職員	2月5日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	骨、関節、筋肉、腱の役割を考えながら、体を曲げる仕組みについて理解を深める探究的な単元づくりを紹介する。腕の曲げ伸ばしが一目で分かり、どんどん表現したくなる教材を製作する。
304 小5理科 「流れる水のはたらき」 (含:野外研修)		○				市内教職員	8月27日(火) 13:30～16:40 五十嵐川下田地区～大崎地区 ※バス移動を予定しています。	五十嵐川の見学コースやポイント、現地で行える事象提示や実験を紹介する。また、探究的な検証計画立案が可能な侵食・運搬・堆積の実験を行う。
305 小6理科 「水溶液の性質」		○				市内教職員	11月6日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	単元を通して安全に行える授業づくりの基本から、身近な野菜や飲み物を使った指示薬による実験、複数の水溶液を特定する発展課題まで、単元づくりを研修する。授業で使用する水溶液の調整の仕方の実習も行う。
306 中1理科 「粒子のモデルと物質の性質」		○				市内教職員	7月10日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	水溶液の濃度、溶解度、複合グラフといった生徒の理解が困難な内容についての効果的な指導や教材を紹介する。気体の安全な生成方法や気体の性質調べについての探究的な学習過程についても取り上げ、実習を行う。
307 中2理科 「動物のつくりとはたらき」		○				市内教職員	8月20日(火) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	動物の臓器(ウシ、ブタ、イカ等)を実際に解剖し、効果的な教材として用いる指導法について研修する。また、身近な道具を使った器官のモデルを製作しながら進める探究的な単元構成について実習を行う。
308 中3理科 「遺伝と進化」		○				市内教職員	7月29日(月) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	交配実験に活用可能な教材とその活用方法、入手が容易で高確率で観察できる観察素材について研修を行う。ICTを活用して、カードやコインを用いた交配モデル実験も紹介する。
309 【野外研修会】 「地層の観察」		○				市内教職員	8月6日(火) 9:00～11:00 秋葉区石油の里	秋葉区の石油の里にて、露頭を観察する。見学における留意点の確認や地層のスケッチ、鉱物の採集を行う。石油の世界館にて、石油の成り立ちや地層観察に関わる映像の上映会も行う。
310 【野外研修会】 「天体観測」		○			○	市内教職員	10月23日(水) 16:30～20:00 ※予備日24日(木) しらすぎ荘	科学教育センター所有の望遠鏡やしらすぎ荘の150mm天体望遠鏡を使い、夏から秋にかけての星座観察や惑星の観察を行う。悪天候の場合は、24日に延期する。
311 【野外研修会】 「夏の星座と月」		○			○	市内教職員	7月31日(水) 16:00～ まちやま サイエンスホール	夏の星座の観察と、プラネタリウムを用いた小4・小6・中3の内容についてのデモ上映を行う。天候がよければ、日没後に望遠鏡で星の観察実習を行う。
312 【野外研修会】 「冬の星座と惑星」		○			○	市内教職員	11月27日(水) 15:30～16:45 まちやま サイエンスホール	冬の星座と、月や金星の満ち欠けの変化について、プラネタリウムとモデル教材を用いて研修を行う。お土産として、月と金星の満ち欠け理解教材等を用意する。
313 【基礎技能・ワンポイント研修会】 小3「かげと太陽」 小4「空気と水」		○				市内教職員	5月8日(水) 15:30～16:45 まちやま サイエンスラボ2	<小3 かげと太陽> かげの向きと太陽の見える方向について主体的に調べようとする事象提示や効果的な教材の活用方法について研修を行う。 <小4 空気と水> 基礎技能に加え、空気と水の性質の違いを利用した道具やおもちゃを製作し、その仕組みを表現するといったものづくりを通じた探究的な学習を提案する。

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての 業績	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 教育指導	ICT活用			
314 【基礎技能・ワンポイント研修会】 小3「明かりをつけよう」 小4「ものの体積と温度」		○				市内教職員	11月20日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	<小3 明かりをつけよう> 基礎技能に加え、豆電球と乾電池、短い導線からスタートする照明作りを通して探究的な学習を提案する。 <小4 ものの体積と温度> 空気、水、金属それぞれの基本的な加熱実験による体積変化を実感するとともに、教科書実験とは別の実証性の高い体積膨張実験を紹介する。
315 【基礎技能・ワンポイント研修会】 小5「種子の発芽と成長」 小6「人や動物の体/植物の養分と水」		○				市内教職員	6月5日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	<小5 種子の発芽と成長> 種子や子葉にでんぷんがよく含まれていることが分かる再現性の高い実験方法を紹介する。 <小6 人や動物の体/植物の養分と水> でんぷんがだ液によって変化する実験、ジャガイモの葉にでんぷんが含まれているか調べる実験について、安心安全で再現性の高い実験方法を紹介する。
316 【基礎技能・ワンポイント研修会】 小5「もののとけ方」 小6「プログラミング」		○			○	市内教職員	1月16日(木) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	<小5 もののとけ方> 冷やしてろ過した液に食塩がまだ溶けているのか?検証計画立案力を高める課題設定を提案する。 <小6 プログラミング> 「電気と私たちの生活」の学習と関連させて、ためた電気を有効活用するためのプログラミングをIoT ブロック教材「MESH」を通して考える実習を行う。
317 【基礎技能・ワンポイント研修会】 中1「動物の分類」 中2「化学変化の利用」		○				市内教職員	5月16日(木) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	<中1 動物の分類> 貸出物品の動物フィギュアやレントゲン写真等を用いた探究的な学習活動を紹介する。 <中2 化学変化の利用> モデル図と関連させた酸化銅の還元反応実験や、発熱・吸熱反応実験の実習を行う。
318 【基礎技能・ワンポイント研修会】 中1「光の性質 屈折の利用」 中2「電流と電圧」		○				市内教職員	10月10日(木) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	<中1 光の性質屈折の利用> 実像と虚像の見え方について理解を深める教材とその指導法について研修を行う。 <中2 電流と電圧> 回路を作り、回路に流れる電流や回路にかかる電圧について主体的に調べる課題設定や詳細な結果の分析・解釈について研修を行う。
319 【基礎技能・ワンポイント研修会】 「生物の成長・生殖」		○				市内教職員	6月20日(木) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	植物のスペシャリスト、上越教育大学の五百川裕教授を講師に、実証性、再現性の高い細胞分裂、花粉管の観察の実習と講義を行う。
320 【基礎技能・ワンポイント研修会】 「理科の授業づくり・環境づくり」		○				市内教職員	4月16日(火) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	理科授業の構成の仕方やノート指導、理科室の使い方と基本的な実験器具の操作等についての研修を行う。子どもたちが理科への関心を高める面白現象や導入も紹介する。
321 【基礎技能・ワンポイント研修会】 「薬品の管理と調整/器具の取り扱い」		○				市内教職員	4月24日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2 準備室	小・中学校で扱う薬品について、薬品調合や廃棄方法等の研修を行う。また、酸素発生実験など、事故が発生しやすい実験の安全な方法を実際に行いながら学びます。器具の取り扱いのポイントや留意点についても学ぶ。
322 【基礎技能・ワンポイント研修会】 「模擬授業・伝達講習①」		○				市内教職員	7月4日(木) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	筑波大学附属小学校で行われる研究会で得た新しい指導法や教材を提供するとともに、模擬授業形式で実際の指導場面を再現する。
323 【基礎技能・ワンポイント研修会】 「模擬授業・伝達講習②」		○				市内教職員	2月19日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	横浜国立大学附属横浜中学校で行われる研究会で得た新しい指導法や教材を提供するとともに、模擬授業形式で実際の指導場面を再現する。お土産として、研究会資料と模擬授業で使用する教材教具を用意する。
324 【基礎技能・ワンポイント研修会】 「貸出物品実習(2学期理科単元)」		○			○	市内教職員	9月4日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2 準備室	科学教育センターにある貸出可能教材について、主に2学期単元に活用する教材を中心に紹介する。また、安全で効果的な活用法について参加者の要望に応じて実習を行う。
325 【基礎技能・ワンポイント研修会】 「科学研究 ～テーマ・素材探しと進め方～」		○				市内教職員	6月26日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	科学研究のテーマの見つけ方から研究方法、まとめ方や発表方法まで、児童生徒の学年に応じた進め方について研修する。
326 【基礎技能・ワンポイント研修会】 「放射線教育」		○			○	市内教職員	1月29日(水) 15:30～16:40 まちやま サイエンスラボ2	理科の単元内容と関連させ、各学年の発達段階に応じた放射線教育の実践を紹介する。また、関連する貸出可能教材の実習を行い、活用法について理解を深める。

(3) 小中一貫教育を通して豊かな人間関係を目指す研修

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての 素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 教育相談	ICT活用			
401 いじめ不登校対応研修①・ 適応指導事業説明会	○		○	○		【悉皆】 生徒指導・不登校支援担当者や 研修内容に興味のある市内教職 員 各学校1名以上	5月9日(木) 14:00～16:30 教育センター	いじめ・不登校等生徒指導事案の理解と学校組織対応について学ぶ。 (講師:中越教育事務所 生徒指導担当指導主事) 「いじめ・不登校等の事案発生時の学校組織対応の在り方(仮)」 適応指導事業説明(25分程度)
402 いじめ不登校対応研修②	○		○			【悉皆】 生徒指導・不登校支援担当者や 研修内容に興味のある市内教職 員 各学校1名以上	7月1日(月) 14:30～16:30 教育センター	いじめ・不登校等生徒指導事案の理解と学校組織対応について学ぶ。 (講師:中越教育事務所 生徒指導担当指導主事)
403 不登校児童生徒への対応力向上 研修			○	○		【悉皆】 不登校支援担当者や研修内容に 興味のある市内教職員 各校1名以上の参加。	8月1日(木) 9:30～11:50 教育センター	家族理解を基に、不登校の予防・初期対応のあり方、児童生徒に合わせた対応、保護者対応、関係機関との連携等のコーディネートのあるあり方を学ぶ。 代表事例の対応の紹介。各校の事例について、対応のあり方について意見交換。 (講師:中越教育事務所 スクールソーシャルワーカー)
404 道徳科授業研修	○	○				市内教職員	6月26日(水) 15:00～16:30 教育センター	道徳科の教科教育専門監を講師に、道徳科授業のあり方について研修する。
405 WEBQU特別研修	○		○	○		【悉皆】 市内教職員、各学校1名	5月29日(水) 15:00～16:30 教育センター	早稲田大学 河村茂雄教授を講師に、WEBQUを活用し、9年間を見据えた児童生徒支援と学級づくりについて学ぶ。 ※研修会場の様子を各学校へZoomミーティングで配信予定
406 WEBQU研修	○		○	○		【悉皆】 市内教職員、各学校1名	8月28日(水) 15:00～16:30 教育センター	早稲田大学 伊佐貢一特任教授を講師に、WEBQUのデータを活用した人間関係づくりの方法の実際(エンカウンター、ソーシャルスキル・トレーニング)について学ぶ。
407 学級づくり研修①	○		○	○		市内教職員	6月20日(木)14:45～16:30 教育センター	新潟大学附属長岡小学校畠山明大教頭を講師に、「いじめ・不登校には理由(わけ)がある」-学級づくりを左右する先生の『考え方』- をテーマに演習を行いながら学ぶ
408 学級づくり研修②	○		○	○		市内教職員	8月21日(水)14:30～16:30 教育センター	新潟大学附属長岡小学校畠山明大教頭を講師に、「クラスがまとまるのには理由(わけ)がある」-なぜあの先生のクラスは子どもたちが輝くのか- をテーマに新演習を行いながら学ぶ
409 学級づくり研修③	○		○	○		市内教職員	10月29日(火)14:45～16:30 教育センター	新潟大学附属長岡小学校畠山明大教頭を講師に、「学力が上がるのには理由(わけ)がある」-学級づくりと学力をつなぐモノ- をテーマに演習を行いながら学ぶ

(4) 小中一貫教育の視点を生かした各種教育研修

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての 素養	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 教育相談	ICT活用			
501 ICT教育研修①		○			○	【悉皆】 管理職1名、ICT担当者1名	5月31日(金) 小学校(前期課程) 14:30~16:30 中学校(後期課程) 15:30~16:30 教育センター	小・中学校(前・後期課程)ともに、AIDリル、授業支援アプリの使用法について学ぶ。小学校(前期課程)については、発達特性に応じた認知トレーニングアプリの使用法についても学ぶ。端末要持参。
502 ICT教育研修②		○			○	市内教職員、各学校1名	7月30日(火) 14:30~16:00 オンライン	外部講師からプログラミング教育が求められる背景と基本的な内容について体験を通して学ぶ。教育センターと各学校とでZoomを通じて実施する予定。端末2台必要。
503 ICT教育研修③		○			○	市内教職員、各学校1名	11月8日(金) 15:00~16:30 教育センター	市内の1人1台端末を活用した授業実践事例や学習者用デジタル教科書の活用事例等を共有し、ICTを活用した授業づくりのアイデアについて学ぶ。
504 環境教育研修	○					市内教職員	5月23日(木) 15:00~16:30 三条市清掃センター 環境啓発施設「かんきょう庵」	エコクラス等、三条市の環境政策についての理解を深め、環境教育の充実を図る。また、三条市清掃センターと環境啓発施設「かんきょう庵」を見学することで、行政と連携した環境教育を推進する。
505 防災教育授業研修(授業研究)	○					市内教職員	11月13日(水) PM 三条おおじま学園(大島小)	令和6年度の重点実施学園である、三条おおじま学園において、新潟県防災教育プログラム等を活用した授業公開を行い、市内全校が防災教育の自校化を推進する。
506 特別な教育課程に基づく授業づくり研修①				○		市内教職員	5月23日(木) 15:00~16:30	月ヶ岡特別支援学校教員を講師として、特別支援学級における特別な教育課程の基本や個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成と活用、評価について研修する。
507 特別な教育課程に基づく授業づくり研修②				○		市内教職員	7月29日(月) 14:30~16:30	月ヶ岡特別支援学校教員を講師として、自立活動をはじめとする特別支援学級における特別な教育課程の具体的な指導について学び、参加者と情報交換をしながらより良い授業づくりについて研修する。
508 インクルーシブ教育システム研修				○		市内教職員	6月4日(火) 14:30~16:30	上越教育大学 関原真紀准教授を講師に、インクルーシブ教育システムの構築や合理的配慮、ユニバーサルデザインについて学び、どの児童生徒にも学びやすく、分かりやすい授業づくりに生かす。
509 特別な配慮に基づく児童生徒の支援研修				○		市内教職員	9月19日(木) 14:30~16:30	新潟大学名誉教授 長澤正樹氏を講師に、通常の学級での特別な支援を要する児童生徒、特別支援学級の児童生徒を中心に的確な実態把握に基づく指導や支援について研修する。
510 通級による指導研修				○		市内教職員	11月7日(木) 15:00~16:30	通級指導教室設置校を会場として、通級による指導の具体的な内容や在籍校との連携等について情報共有を図りながら学ぶ。通級指導教室担当者は悉皆研修とし、他の教職員の参加も可とする。
511 学習活動に困難のある子供のアセスメントと支援研修		○		○		市内教職員	11月15日(金) 14:30~16:30 ※講師はオンライン	金沢学院大学 教授 佐田東彰氏を講師に、特別支援学級、通常の学級で読み書き、計算等に困難がある子供の実態の捉え方や具体的な指導方法について研修する。

### 3 充実発展研修

#### (1) マネジメント研修

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての 業績	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 教育相談	ICT活用			
601 マネジメント研修	○					小中一貫教育推進リーダー、小中一貫教育推進コーディネーター、管理職等	5月16日(木) 15:00～16:30	小中一貫教育推進の重点及び学力向上について、各学園・学校の取組を情報交換し、自学園・自校の取組に生かす。

#### (2) コミュニティ・スクール研修

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての 業績	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 教育相談	ICT活用			
701 CSディレクター研修①	○					市内教職員、管理職等 学校運営協議会事務局委員	6月14日(金) 15:30～16:40 教育センター	市内各学園・学校の今年度の取組の方向について情報交換などをし、コミュニティ・スクールについて研修する。
702 CSディレクター研修②	○					市内教職員、管理職等 学校運営協議会事務局委員	2月21日(金) 15:30～16:40 教育センター	市内各学園・学校の今年度の取組の成果と課題について情報交換などをし、次年度の取組に生かす。
703 コミュニティ・スクール研修	○					市内教職員 学校運営協議会委員	11月14日(木) 15:00～16:40 教育センター	指導者を招き、コミュニティ・スクールの取組について研修する。

## II 教職員支援研修

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての 業績	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 教育相談	ICT活用			
801 授業力向上実践研修 (Step1及び関連事業)		○		○		【悉皆】 教諭 採用2年目～5年目	5月～2月 ・ガイダンス1回、学習会4回 (うち紙面2回、オンライン3回) ・研究授業1回 ※ いずれも自校	「三条市授業スタンダード」に基づく授業構成や小中一貫教育カリキュラムや校内研修に則った授業づくりの基礎を学び、授業実践に取り組む。実践の成果を「授業づくり実践記録」としてまとめる。 ガイダンス(紙面:5月)、学習会①(オンライン:6/27(木))、学習会②(紙面:7月下旬)、学習会③(オンライン:8/22(木))、学習会④(オンライン:11/25(月)～12/3(火)のうち1日)
802 授業力向上実践研修 (Step2及び関連事業)		○		○		【悉皆】 教諭 採用7年目～10年目	5月～2月 ・ガイダンス1回、学習会4回 (うち紙面2回、オンライン3回) ・研究授業1回 ※ いずれも自校	自己の学習指導上の課題解決に向け、研究仮説を立てて授業実践に取り組み、指導力向上を図る。研究の成果を「教育研究論文」としてまとめる。 ガイダンス(紙面:5月)、学習会①(オンライン:6/25(火))、学習会②(紙面:7月下旬)、学習会③(オンライン:8/20(火))、学習会④(オンライン:11/25(月)～12/3(火)のうち1日)

研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
	教員としての 業績	学習指導	生徒指導	特別支援教育・ 障害児指導	ICT活用			
901 睡眠調査票読取勉強会	○		○			市内教職員	6月6日(木)14:30～16:30 教育センター	日本眠育推進協議会理事石井正文先生を講師に、講義及びグループ演習を行い、睡眠調査票の読取方法や児童生徒への助言方法を学ぶ。
902 第1回眠育研修会	○		○			市内教職員	8月7日(水)14:00～15:30 オンライン	熊本大学名誉教授三池輝久先生(小児科医)を講師に、生涯の心身健康を守る体内時計、眠育の重要性について学ぶ。
903 第2回眠育研修会	○		○			市内教職員	12月3日(火)14:00～16:30 オンライン	熊本大学名誉教授三池輝久先生(小児科医)を講師に、睡眠調査票の読取演習を行い、個々の状況に応じた適切な指導について学ぶ。
904 ヤングケアラーの発見及び支援に関する研修会	○		○			【悉皆】 生徒指導・不登校支援担当者や 研修内容に興味のある市内教職員 各学校1名以上	8月8日(木)14:00～16:00 教育センター	ヤングケアラーと思われる児童へのアプローチ方法と発見後の対応についての理解を深めることを目的に、中央児童相談所ヤングケアラーコーディネーターを講師に講義及びグループワークを行いながら学ぶ。
905 性的マイノリティ理解研修	○		○			市内教職員	7月5日(金)14:00～16:00 三条市役所第二庁舎	黒田隆史弁護士を講師に、性的マイノリティへの理解促進のために必要な知識や考え方を学ぶ。



### Ⅲ 刃物・ものづくり教育推進事業

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
		教員としての実践	学習指導	生徒指導	特別支援教育・教育相談	ICT活用			
1001	三条学講座① 「郷土の偉人 諸橋轍次博士」	○	○				・市内教職員希望者(全講座) ・【推薦】第1回、第3回、第4回、第5回、第6回については、各学校で1名以上の教職員を推薦(三条市勤務が初めての教職員や校務分掌に関連する教職員を優先的に推薦する)	6月4日(火) 15:00～16:30 諸橋轍次記念館	「大漢和辞典」の編者 諸橋博士は郷土の誇り。「諸橋轍次記念館」で博士の遺品や遺墨等に接し、博士の偉業や人となりについて学ぶ。
1002	三条学講座② 「包丁研ぎの実習」	○	○					8月6日(火) ①9:00 ②10:30 ③13:30(①～③から選択)三条鍛冶道場	切れ味の悪くなった自宅の包丁や学校の家庭科用包丁等を持ち寄って、包丁研ぎの実習を通して正しい包丁の研ぎ方を身に付ける。
1003	三条学講座③ 「和釘づくりの実習」	○	○					8月9日(金) ①10:00 ②13:30(①・②から選択)三条鍛冶道場	鉄を赤く熱する・叩いて伸ばすという日常生活にはない鍛冶体験で、伊勢神宮にも使われている三条の「和釘」をつくることを通して、ものづくりの楽しさ・奥深さを味わう。
1004	三条学講座④ 「三条鍛冶の歴史」	○	○					9月18日(水) 14:30～16:30 下田郷資料館	石器時代からつながる三条のものづくりの歴史を遺跡や出土品、三条鍛冶の発祥、三条和釘の隆盛、鍛冶専門職人と三条金物商人などに触れながら学ぶ。
1005	三条学講座⑤ 「三条刃物について講義・実演」	○	○					9月25日(水) 14:30～16:30 三条鍛冶道場	鉄と鋼の違いや刃物づくりの工程・温度管理等について名工鍛冶職人の講義を聞き、「鍛接」等普段は見ることのできない迫力ある名人技を参観、一部体験する。
1006	三条学講座⑥ 「秋の大崎山をたずねて」	○	○					10月11日(金) 14:30～16:30 大崎山	自然豊かな秋の大崎山を散策しながら、木の実や種、草花を見つけ、それらを使った遊び方を教わったり、大崎山(永明寺山)の歴史(皆既日食碑)に触れたりしながら秋の自然を満喫する。
1007	三条学講座⑦ 「包丁づくりの実習」	○	○					11月9日(土)三条鍛冶道場 和式ベティナイフ(片刃) ①9:00 ②13:00 (①②から選択)	三条が誇る名工(伝統工芸士)の手ほどきを受けながら「世界で一つの・自分だけの・実用的な刃物をつくることを通して、ものづくりの楽しさ・奥深さ、三条の刃物づくりのすばらしさを味わう。
1008	和釘づくり学習	○	○			小学校・大崎学園(前期)児童、学年・学級担任	6月～12月(予定) 各校1回 三条鍛冶道場	三条鍛冶道場で、三条の和釘・刃物・金物の歴史を学んだり、「階折釘」等の和釘を実際につくる体験をしたりする。三条の職人技を実感する。	
1009	小刀学習	○	○				6月～12月(予定) 各校1～2回 各学校	切り出し小刀の正しい使い方を学び、「鉛筆削り、竹とんぼづくり、竹箒づくり」等を行う。	
1010	包丁研ぎ学習	○	○			中学校・大崎学園(後期)生徒、担当者	6月～12月(予定) 各校1回 各学校	包丁の種類や正しい研ぎ方を学び、中砥石を使って包丁研ぎを体験する。 ※使用した砥石は生徒へのプレゼントとなる。家庭で包丁研ぎに活用してもらおう。 ※使用する包丁は、家庭の物を使用する場合は、生徒が持ち運ばないように行う。	
1011	木工用工具学習	○	○				5月下旬～12月(予定) 各校1回 各学校	のこぎり、かんなど木工用工具の正しい使い方を学習し、木材を切る・削る等の体験をする。三条の職人技を実感する。	

IV 科学教育推進事業

	研修・講座名	教員等育成指標					対象	期日・場所	内容
		教員としての実践	学習指導	生徒指導	特別支援教育・教育指導	ICT活用			
1101	子どもの科学教室 「生物教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	6月15日(土) 大崎山公園	～大崎山の生きものをさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
1102	子どもの科学教室 「物理教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	7月6日(土) 科学教育センター	～電気と磁石のひみつをさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
1103	子どもの科学教室 「星空教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	9月11日(水) しらすぎ荘 ※予備日12日(木)	～秋の星空をさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
1104	子どもの科学教室 「地学教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	10月5日(土) 寺泊・出雲崎方面	～寺泊と出雲崎の大地をさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
1105	子どもの科学教室 「化学教室」	○	○				児童30名 活動支援者5名	11月9日(土) 科学教育センター	～燃える現象をさぐる～ 事象に直接触れる活動を通して自然認識と科学的な見方・考え方を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
1106	第1回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	6月22日(土) 科学教育センター	科学・模型工作の活動を通して、科学的なものの見方と考え方で製作活動に取り組む態度を育てる。 もの作りを通して、発想豊かに、自分らしさを表現する感性を育てる。 活動支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。  (指導者: 科学教育センター特別指導主事、教育センター指導主事)
1107	第2回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	7月20日(土) 科学教育センター	
1108	第3回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	8月24日(土) 科学教育センター	
1109	第4回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	9月21日(土) 科学教育センター	
1110	第5回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	11月23日(土) 科学教育センター	
1111	第6回 科学・模型工作教室	○	○				児童40名 活動支援者5名	12月14日(土) 科学教育センター	
1112	第19回 わくわく科学フェスティバル	○	○				児童・生徒・一般500名 指導者・活動支援者100名	8月8日(木) 三条市体育文化会館	自然の不思議に直接ふれ、科学実験や工作等を通して身近な自然現象や科学技術に興味・関心を向けて、好奇心や探究心を高める体験を、広く児童生徒に提供する。 指導や支援を通して適切な支援方法と教材の特性を研修する。
1113	第19回 科学ゼミナール	○	○				第二中学校生徒 第四中学校生徒 大島中学校生徒	10月3日(木) 第四中学校 10月4日(金) 第二中学校、大島中学校	先進的な科学技術に関する講演会を通して、広く科学的な素養を身に付ける。また、専門家の生き方にも触れ、自分の将来や生き方について考える一助とする。 科学に関する研究開発で社会に貢献する人の生き方や考え方にふれ、科学教育・キャリア教育について研修する。